

今年の『全国都市緑化フェア：ひろしまはなのわ 2020』は、広島県で開催されています。この大会では、園芸福祉のワークショップやモデルガーデンなどを、広島県内の園芸福祉士が行っています。その内容について、広島在住の高松理事に紹介してもらいます。

都市緑化フェア（広島）における園芸福祉

「全国都市緑化フェア」は、緑がもたらす暮らしを大切に、街づくりを進めるために、毎年、全国各地で開催される花と緑の祭典です。今回で 37 回目を迎える全国都市緑化フェアは、全国で初めて県内の自治体すべてが主催者となって開催し、花と緑をはじめとした魅力ある地域資源で皆さんを“おもてなし”をするために 2020 年 3 月 19 日から 250 日間、各地で開催が計画されています。

「ひろしまはなのわ 2020」のメイン会場となる広島市の旧市民球場跡地とその周辺は、およそ 300 品種 12 万本の花で彩られています。会場に入るとすぐに広がるのは「ひろしま百景花壇」です。厳島神社の鳥居や原爆ドーム、それに「壬生の花田植」など広島を代表する建物や風景を、花と緑で再現しています。

【花と緑のアトリエ】メイン会場のステージの横にはテントがあり、連日様々なワークショップが予定されています。『植える美-ing ひろしま』で 18 日間、『NPO 緑の風景』が 17 日間の計 35 日間を受け持ちます。67 日間の期間の半分以上を園芸福祉士のみなさんが担当するというのは驚くばかりです。今年は新型コロナウイルスの影響で 4 月 19 日までワークショップは中止となりましたが、広島で園芸福祉の活動が広がっていることに感動します。



【五感を刺激する“園芸福祉ガーデン”】「ベランダガーデン部門」では園芸福祉士有志が集まり、五感で体験できるガーデンを製作しました。人々が園芸を生活に活かすことで、日常のしあわせを感じる感性を引き出す庭という思いで製作し、どんな年齢の人も、心身に不自由な人も、だれもがそこへ行って楽しめる体験型ガーデンです。12 m²の小さなガーデンですが、車椅子での園芸体験やレイズドベッドの花植えを、手作り感あふれるガーデンの中で楽しむことができ、認知症予防を考えた香りの植栽やユニバーサルデザインの自助具も揃えています。手作りの 3 種の高さのレイズドベッドやキッチンハーブなどワクワク楽しんでもらえる、誰もがなにか可能性を感じる庭。誰でも楽しいガーデニングが体験できる庭です。

五感を刺激する“園芸福祉ガーデン”

新型コロナの影響でかなり縮小されますが、みんなで力をあわせて盛り上げていきたいと考えています。

(当協会理事、NPO 緑の風景理事長／高松 雅子)

ひろしまはなのわ 2020 の公式ウェブサイトをチェック！ <https://hananowa2020.com/>

お知らせ

第 19 回 園芸福祉シンポジウム in たけはら ～くらしによりそう園芸福祉～

2020 年 5 月 30 日（土）13：00～ 広島県竹原市に於いて開催

翌日は見学会や街並み保存地区散策もあります。詳しくは案内チラシをご覧ください。

また、NPO の通常総会を 31 日同会場で、10：30 から開催いたします。

正会員の方には、4 月下旬までに総会案内をご送付いたします。

地域協力団体の紹介

園芸福祉フォーラム「植える美-ing ひろしま」活動紹介

植える美-ing ひろしま 幹事 西本 智子



平成ケ浜仮設住宅
楽しい寄せ植え上手にできました

「園芸福祉」という言葉に様々な期待と好奇心を抱き、年令も経歴も異なる全く関係のなかった私達が、初級園芸福祉士養成講座で出会いました。園芸福祉フォーラム「植える美-ing ひろしま」はこの出会いを大切に親睦を深め、情報の共有をして互いの活動の推進を図ろうと、平成 21 年 6 月に発足しました。

活動は養成講座運営の支援、園芸福祉実践事例研修会の開催、講座や会議で利用させて頂いている大学の花壇の維持管理等です。農業公園「グリーンヒル郷原」で除虫菊や綿、役員の畑で苳や麦を栽培し、幼稚園や小学校に植えたり、クラフト作りを年数回しています。

地域の菜の花祭りに出店した収益を利用して、西日本豪雨災害で仮設住宅に入居中の方と寄せ植え作りをした事、植物公園のグリーンフェアでは、おもちゃカボチャや綿を利用したワークショップで好評を得た事は、苦勞の何倍もの喜びと自信になっています。

会員は、協会の園芸福祉士資格登録者（初級を含む）としており、会費無料を続行するが故に役員メンバーは悩みが絶えません。全ての会員へ情報発信や情報交換をどう行なおうかと、昨年からは会員用グループ LINE を始めました。まずは口コミで繋がるしかありません。皆様、良い知恵があったら教えてください！



植物公園グリーンフェア
綿の実の小物作り頑張ったよ

全国の園芸福祉の仲間たちに支えられて

うつくしま園芸福祉の会 代表 勝山 哲雄



円形花壇でのラベンダー摘み取り体験

2011.3.11 の東日本大震災から 10 年の月日が流れようとしています。この間、私たちは園芸福祉普及協会や岡山園芸福祉の方々を始めとし、全国の園芸福祉の方々大きく支援を頂いて参りました。本当にありがとうございました。

福島仲間たち「うつくしま園芸福祉の会」は、風評被害などにも負けじと、毎年数回のお楽しみなどを企画実行し、元気をいただいて来ました。内容などは多岐にわたりますが、多肉植物の寄せ植え体験会、ラベンダー摘み取り・花輪作り、モグラ撃退風車作り、カルトナージュ作り、クリスマスローズのリース作り講習会などを行い、クリスマスローズは花壇を作り、花壇整備は年中行っています。

2 年前には「園芸福祉とちぎ」と交流会を行いました。エコバック作りや私たちの活動拠点あづま総合運動公園（東京オリンピック 2020 のソフトボール競技会場です）内にある円形花壇でのラベンダー摘み取り体験、運動公園内のバラ園見学会などをして交流会を楽しく行いました。以前に「園芸福祉とちぎ」と栃木・宇都宮市で交流会を行っていたので、多くの方々とは再会になったのでした。



園芸福祉とちぎ、うつくしま園芸福祉の会の仲間たち
あづま総合運動公園内 バラ園での集合写真

プログラムの紹介

押し花の額飾り

野道を歩いている時に咲いている花をちょっと本に挟んで押し花にした覚えはありませんか？

咲いている花を綺麗に残しておきたい。赤い花、ピンクの花、オレンジ、青、紫・・・、花の色がそのまま残ると嬉しいものですね。今回はサンボンネット・スーの図案を使って額飾りを作ります。どんな女の子が出来るのでしょうか。このプログラムは、昨年秋に船橋市認知症予防講座で行ったものです。



材料
フォトフレーム
押し花
ピンセット
ボンド
乾燥シート
アルミテープ
カーボン紙
女の子の図案

作り方

- 1 女の子の図案をカーボン紙で台紙に写す。
- 2 写した線に合わせ押し花をピンセットで置いて行く。
- 3 台紙に置くと、押し花に軽くボンドを付ける。
つけすぎると湿気を含んでしまうので注意。
- 4 乾燥シートと台紙を合わせ周りをアルミテープでとめる。
- 5 額にはめれば完成。

上手な押し花作り方のコツ

- ★切り花は水切りをして、半日しっかり水揚げをする。
- ★家で咲いた花は蕾から開いたばかりの花がよい。
- ★草花を摘む際は、午前中が良い。前日雨、風が強い時は花が痛んでいる。
- ★出先で摘んだ花はちり紙で包み雑誌などにはさみ帰宅後に押す。
- ★新鮮な花や葉を用い、花弁がしっかりしているものが良い。
- ★押し圧が弱すぎると花が縮んだり、反対に強すぎると花びらがバラバラになる。
花材により押し圧を加減しましょう。

認定校の紹介

花と緑の学校 岐阜県立国際園芸アカデミー

現在放映中の NHK 大河ドラマ『麒麟がくる』の舞台である美濃。岐阜県立国際園芸アカデミーのある岐阜県可児市は明智光秀をはじめとする戦国時代の歴史が残る場所です。

2004年に開学した専門学校である本学は、修業年限2年間のマイスター科（1学年20名、総定員40名）の中に、花き生産、花き装飾、造園緑化の3コースがあります。生徒は高校を卒業してすぐに本学へ入学するものが多く、園芸店、ホームセンター、花屋、結婚式場、造園業、公園などへ就職するものが多いです。

本学における園芸福祉の教育は1年後期「園芸福祉論・実習」（15コマ、1コマ90分）でおこなわれています。なお、本学は初級園芸福祉士の認定校となっているため、この授業を修了すると初級園芸福祉士認定試験の受験資格を得ることができます。授業の特徴としては、学内にある園芸療法実習園のレイズドベッド（立ち上げ式花壇）で、車椅子に乗ったり、高齢者疑似体験（加齢体験）キットを装着したり、さまざまな身体の障害に対応した移植ゴテや園芸用フォークを使ってみたりと、生徒は実際の活動を想定しながら経験を積んでいます。また、園芸福祉活動で良く利用するハーブについては、学内のハーブを収穫し、蒸留器（水蒸気蒸留法）でハーブオイル（精油）とハーブウォーターを抽出、生徒は実際の過程を勉強することができます。バラで有名で本学実習フィールド（1,100㎡）もある花フェスタ記念公園を訪問する際には、ぜひお立ち寄りください（要予約）。（准教授／相田 明）



岐阜県立国際園芸アカデミー全景



車椅子や高齢者疑似体験キットを装着しレイズドベッドで実習

新しい園芸福祉士の仲間たち

昨秋、園芸福祉士に認定された方々をご紹介します。今後のますますのご活躍を期待しています。

東京都

皆川 輝与美様
山本 恭子様
岸 すみ子様
姜 亨叔様

神奈川県

浅岡 隆雄様
大沢 由美子様
北村 尚美様
磯部 美由紀様

静岡県

前川 有希子様
増田 照代様
三田 寿恵様

岡山県

藤井 順子様

広島県

加良 義広様
祢宜 邦男様
田畑 稔様
中迫 正子様
森澤 有子様

新潟県

俵山 由喜枝様

山梨県

渡辺 真由美様

石川県

山田 美恵子様

鹿児島県

山口 健次郎様

おすすめの本

進士五十八の風景美学



進士五十八著
マルモ出版 700円+税

当会会長、元・東京農業大学学長、進士五十八先生の新著。2016年から福井県立大学長となり、同県内にある曹洞宗大本山永平寺の機関紙『笠松』に寄稿された「園林家十話」をまとめたもの。美しい風景の地域創造のため10の基本的視点(都と鄙/禅境と禅のまち/森と生き物/庭と園/緑と花/時間の美/男と女/食農と環境/生と死/文明と文化)について、福井や永平寺を題材にしながら普遍性のある話題となっている。これまでの著作のエキスをエッセーとした「進士節」が光る著作。特に、造園家として「生と死」というテーマについて読み解いた第九話は、不老不死・不老長寿の庭園デザインについて説明、我々に生きることと死ぬことについて考えさせる。
(書評:当協会監事/相田 明)

農福連携が農業と地域をおもしろくする



吉田行郷・里見善久夫著
株式会社コトノネ生活 1,800円+税

農業は地域産業の代表だった。農業はみんなの福祉でもあった。でも、高度経済成長で農業はズルズルと後退した。障害者福祉は地域でもずっと目立たない福祉だった。そんな農業と障害者福祉が手を組んで、新しい産業が生まれた。障害者だけでなく、高齢者もニート引きこもりもシングルマザーも触法者も働ける場になった。農福連携は人が地域の宝になることだった。農福連携の提唱者でもあり研究者の第一人者吉田行郷が農福連携の全貌について分析・解説。季刊コトノネ編集長の里見善久夫が、障害者福祉が農業を武器にさまざまな企業・事業を結びつき新しい地域を生み出す姿を報告する。

メールマガジン配信中!

全国各地の活動情報、イベント、講習会など園芸福祉に関する情報を配信しています。登録は無料!
登録方法は、件名に「登録希望」、本文に氏名と認定登録番号を明記の上、下記までご送信ください。
送信いただいたメールアドレスを登録させていただきます。
登録完了後、「ご登録完了メール」をお送りいたしますので、「@engeifukusi.com」からのメールが受信できるよう設定をお願いいたします。
送信先 kyoukai@engeifukusi.com

正会員を募集しています

日本園芸福祉普及協会は、NPO法人です。NPO法人は、正会員で成り立つ組織です。協会の正会員の内70%以上の方は、初級園芸福祉士の資格を取られた後に正会員になられた方達です。多くの方に正会員になっていただき、協会運営にお力添えをお願いいたします。

おすすめの一冊

会報で紹介させていただくおすすめの本を募集しています。みなさんのおすすめの一冊をぜひお知らせください。ただし、園芸福祉に関連する、あるいは関連すると思われる本に限らせていただきます。お待ちしております!!

協会行事カレンダー

- 4月 初級園芸福祉士認定試験合格発表
資格更新手続き締切
- 5月 初級園芸福祉士資格登録手続き締切
総会・シンポジウム(30日31日於:広島県竹原市)
- 6月 年間活動アンケート提出締切
- 9月 園芸福祉士認定審査
- 10月 園芸福祉士認定者発表
- 2月 初級園芸福祉士認定試験
- 3月 資格更新手続き開始

詳細や日程については、HPで最新情報をお知らせしていますのでそちらをご確認ください。

NPO法人日本園芸福祉普及協会
〒162-0063 東京都新宿区市谷薬王寺町 58
TEL:03-3266-0666 FAX:03-3266-0666